

# 第 8 章

電気・ガス・上下水道

## 第 8 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成 19 年度における電灯需要の契約口数をみると、504 万 3810 口にのぼり、前年度の 501 万 5404 口に比べ 0.6%(2 万 8406 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 434 万 6632 口(前年度比 0.9%増)となっている。また、使用電力量は 2089 万 3399MWh で、前年度に比べ 3.4%の増加となり、1 口当たりの年間使用量は 4142kWh(前年度比 2.8%増)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 43 万 9372 口で、前年度に比べ 1.6%の減少となった。使用電力量は 27 億 8067 万 5 千 kWh となっている。

### ガス

平成 19 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 63 億 7462 万 m<sup>3</sup> で、前年度の 61 億 2287 万 m<sup>3</sup> に比べ 4.1%の増加となった。

また、消費量は 42 億 3892 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.9%の減少となった。これを内訳でみると、工業用が 20 億 4922 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 3.3%の減少となり、商業用が 5 億 9070 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 2.8%の減少、公用が 1 億 6788 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.8%の減少、医療用が 1 億 7393 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 2.8%の増加となり、家庭用が 12 億 5718 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 0.1%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 389 万 2921 戸で、前年度に比べ 0.9%の増加となっている。

### 上下水道

・上水道 平成 19 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 12 億 2164 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 0.9%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 6102 万 m<sup>3</sup> で、全体の 37.7%を占めている。

栓数は 320 万 362 件で、前年度に比べ 1.2%の増加となっている。

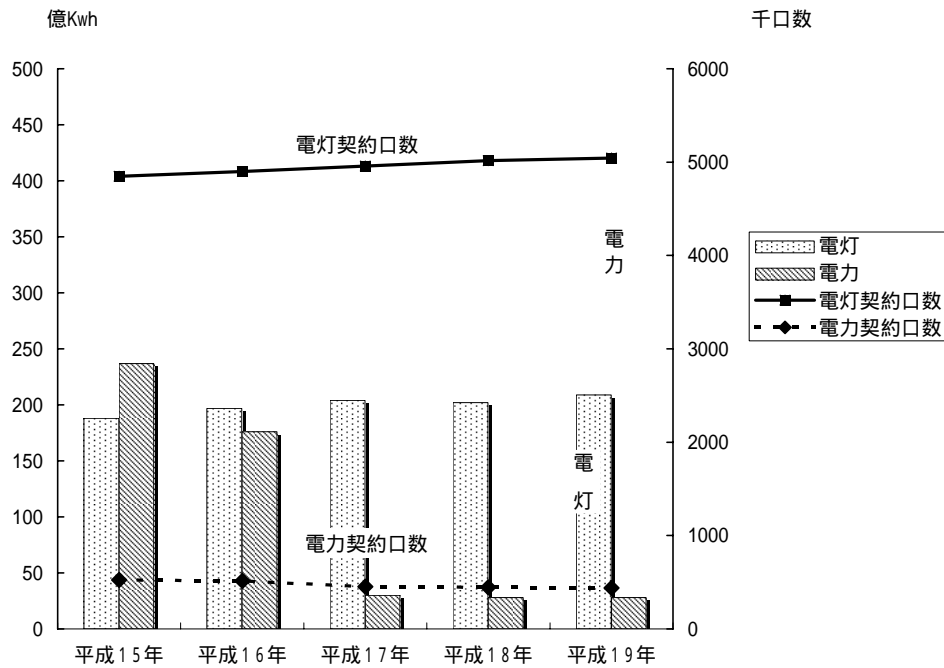
また、1 人 1 日平均給水量は 340 で、前年度に比べ 1.2%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 476 で、以下、泉佐野市の 434 、岬町の 398 の順となっている。

工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 1.9%増の 602 万 2966m<sup>3</sup> となっている。

このうち、淡水の使用量は 500 万 4958m<sup>3</sup> で、前年に比べ 4.9%の減少となっており、全体の 83.1%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 85.9%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 37.3%、化学が 26.8%、鉄鋼が 24.8%と、この 3 業種で回収水全体の 8 割以上を占めている。

・下水道 府内における平成 19 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 92.7%で、前年度より 0.6 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100%で、全域に普及している。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成19年度)

